

■After 建築名称 下段: 英語名	キッコーマン 御用蔵 Goyogura		
建築用途	大分類 展示、生産	小分類 展示場、醸造所	
改修設計者	プランテック	URL	
所在地	千葉県野田市野田110		
改修年	2010年		
建築規模	木造、2階建て、延床面積469㎡		
掲載書誌			After 御用蔵と見学者の通路として使われている再現された朱塗りの橋。 撮影者提供者 撮影: 桐原武志 2024年 概要 after 江戸川沿いに建てられていた宮内庁に納める醤油醸造所を工場入口に移築。醸造を続けると共に工場見学者へ昔の醸造方法を伝える展示施設に
賞・選定	2011グッドデザイン賞、2011JIA優秀建築選		
資料・その他	URL		
■Before 建築名称	御用蔵		
建築用途	大分類 生産	小分類 醤油醸造所	概要 before 1939年(昭和14年)に建設された宮内庁御用達の醤油醸造所
■写真 Before	江戸川沿いに建てられていた御用蔵。右の建物を移築。	After	杉の木桶に「もろみ」を入れ、1年かけて発酵・熟成させている様子を硝子越しに見る事が出来る
			After 中庭をガラスで覆い大豆を蒸し、小麦を炒る装置が展示された見学者のエントランス
撮影者提供者	提供: キッコーマン	撮影者提供者	撮影: 桐原武志 2024年
■リノベーション内容	キーワード 移築、被覆、用途変更	内容 「キッコーマン 御用蔵」は、宮内省(現宮内庁)に納める”御用醤油”を醸造するための施設「御用醤油醸造所(通称: 御用蔵)」。「皇紀2600年」の記念事業として1939年(昭和14年)江戸川沿いに日本城郭形式で建築された旧御用蔵は、老朽化が進んでおり、70年を節目に現在の場所に移築が行われた。移築のコンセプトは「伝統と革新」。移築前の原型をなるべく再現して、アプローチは趣のあるシークエンスを受け継ぐ。一方で最新のテクノロジー機能を加え、旧中庭部にガラスボックスを設置して展示空間を拡張、醤油醸造の歴史や創建当時の醸造過程を体験できる構成とし、現在もろみを熟成させる仕込み工程が実際に行なわれている。	撮影者提供者 撮影: 桐原武志 2024年
■備考			
■作成者氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		作成協力 プランテック、キッコーマン